

クリント・イーストウッドはアメリカの人気俳優であり、90歳を超えた現在も監督、俳優として活動している。その人気が高まったのは1959年から放送されたテレビ西部劇の「ローハイド」である。「ローハイド」は人気シリーズとなり1965年まで続き、日本においても繰り返し再放送された。

西部劇で評価されたイーストウッドは1964年にイタリヤ映画「荒野の用心棒」に主演する。撮影はス

出張によるワーケーション

なり、以後の西部劇に大きな影響を及ぼした「荒野の用心棒」は、仕事(ワーク)と観光(バケーション)を兼ねた「ワーケーション」によって生み出されたのである。

同様の事例は、作家が旅館で執筆する、画家が旅しながら絵を描く、また、物見遊山との批判もあるが、政治家の外遊がある。江戸時代には各藩の藩士は江戸に遊学している。

ワーケーションは労働者が旅行先まで自己負担で移動して仕事をすると定義されるが、会社員が出張先で観光するワーケーションも提案できる。出張先での観光の是非は議論があり、仕事の生産性の向上につながる。

生産性と創造性 向上への働き方

ペインで行われたが、「ローハイド」の撮影に疲れたイーストウッドは気分転換にもなると引き受け、撮影中に観光を楽しんだ。イーストウッドにとって転機と



山崎女子大学 現代マネジメント学部准教授
水野 英雄

水野 英雄

事帰りに飲食や娯楽に立ち寄ることと同じで許容範囲であるとする意見と、公私を厳格に区別すべきとの意見がある。

出張をワーケーションとすることに関しては、①会社の経費を使用する正当性、②事故に遭った場合の補償、③仕事への貢献や成果の評価、が問題となる。

①に関しては、福利厚生として会社内の娯楽施設や会社外の保養施設等を整備する代わりになると位置付けられることができる。②に関

新型コロナウイルスによる在宅勤務で思わぬ発見や新たな働き方を見つけたことができた方は多いであろう。ルーティンワークが中心の時代には「仕事と家庭を峻別する」、「仕事は家庭に持ち込まない」のようにより明確に区別することができたが、創造性が求められる仕事を中心になったことで、よい成果が出せる場所や時間に仕事をするということが生産性の向上につながる。

「荒野の用心棒」でイーストウッドが演じた「普段は怠惰な皮肉屋であるが、肝心の場面では頼りになる」という主人公のような働き方こそ、成果が求められる時代の働き方である。

みずの・ひでお 国際経済学、貿易政策、経済政策。名古屋大学大学院経済学研究科博士課程後期課程退学。